

中間報告骨子（案）

◆ 平成28年度諮問事項

「町家の保全・活用のあり方について」

◆ 現状・課題

- 堺区には、歴史的・文化的資源、施設が数多く分布しているが、町家はその一端を担っており、堺区の魅力の一つとなっている。
- 町家は、近年、老朽化が進み、取り壊されるという状況も見られる。
- 現状を把握しつつ、早期に保全に向けた検討を進めていく必要がある。
- 町家の活用を一層進めるためにも、周囲の環境整備、女性や若者などの視点での区民の一層のホスピタリティの向上も必要。

◆ 検討の視点

- 町家活用も視野に入れた今後の取組のあり方、住民意識の向上、多くの人を呼び込むために必要な周辺地域でのしかけづくりについて
- 町家の保全・活用に関し、借り手と貸し手をつなぐマッチングを行うようなしくみづくりについて
- 町家の保全や活用に向けた町家に対する住民意識のさらなる向上について
- 地域貢献に資する施設への町家の活用について
- 町家の情報を集約・提供する施設について
- 町家の多い地域への集客について
- 自ら景観に配慮した建物を建てるなど、地域の人が取り組んでいることを応援するしくみづくりについて

◆ 課題解決に向けた方向性

町家の保全・活用

- 民間主体による町家の活用に向けたしくみを構築
- 歴史的価値のある町家の保全
- 「町家のよさを知る」きっかけづくり

(町家の保全・活用と合わせて取組むべき)周辺環境の整備

- 大道筋を魅力ある空間にする取組を継続して実施
- 女性や若者、外国人観光客など、来訪者が快適に過ごせる空間の整備や情報発信の強化
- 大道筋において、区民、事業者・企業、活動団体などが集まり、まちづくりを進める「場」づくりを推進

まちづくりに関する区民意識向上

- 地域の歴史的・文化的資源に対する理解を高めることで、シビックプライドを醸成

◆ 取組案

- ・ 町家に係る相談窓口、マッチング等を大道筋に設置する「場」において検討・実施
- ・ 歴史的価値のある町家保全の推進
- ・ 町家のよさを実感できるイベント等の実施

- ・ 沿道の緑化、美化活動の推進
- ・ まちなみなど、沿道景観の形成
- ・ 歩道空間の整備
- ・ まちなかでの観光情報発信ツールの充実
- ・ 寺社を活用した取組の推進
- ・ 自転車のまちを想起させるイベントの実施
- ・ 広い歩道を活用した各種イベントの実施
- ・ 民間主体でまちづくりの検討・実施をすすめる組織づくり

- ・ 歴史・文化に関する地域教育の充実
- ・ まちづくりに関する取組の表彰制度等、まちづくりを応援するしくみの検討
- ・ 地域の魅力的な資源をホームページ等で発信
- ・ 来訪者が接する機会の多い店舗の人対象に堺区の歴史・文化を知ってもらう機会を創出

民間、協働、行政（関係部局・堺区）がそれぞれの取組について、役割分担をしながら実施。